



川面が丘 11月号



令和4年(2022年) 11月 1日 宝塚市立宝塚小学校

校長 藤山 昌生



秋晴れの中、3年ぶりに開催することができました運動会では、子どもたちの頑張る姿を多くの保護者のみなさまに応援いただき、本当にありがとうございました。大きな行事に子どもたち一人ひとりがそれぞれのめあてをもって取り組む姿はとても素晴らしく、やり終えたという達成感を感じ取れたことだと思います。また、運動会後に実施しましたアンケートにもお忙しい中、多くのご感想やご意見をいただきましたこと感謝申し上げます。年度当初より、感染症対策を講じながらどのような運動会であれば、安全にかつ充実したものとなるのか、長い時間をかけて検討してきました。アンケートでいただいたご感想やご意見も参考にさせていただき、今年度の成果と課題を整理し次年度に向けて進めたいと思っております。

運動会の1週間後には、3年ぶりに、地域の秋祭りでだんじりが曳航されました。本宮の日、川面神社に3台のだんじりが並んでいる姿を見ましたが、その佇まいそのものが煌びやかで本当に壮観で圧倒されました。だんじりが宝塚小学校前の阪急の踏切を北進する際、だんじりは直角に折れ曲がります。学校前の道路も踏切もとても狭いところです。それぞれのだんじりが続いて宝塚小学校前にやってきましたが、だんじりの前後を担当している方々の力強い動きで、大きなだんじりが一発で向きを変え、狭い踏切を何事もなかったかのように悠々と渡り切っていく様子は、これまで間近でだんじりを見たことのない私自身とても感動しました。宝塚小学校の多くの子どもたちもこのだんじり曳航に携わっている姿を見ることができました。そこで見る場面は一瞬間かもしれませんが、子どもたちは地域の一員として祭りという伝統的な行事に参画していることだと思います。また、直接的に携わってなくても、この時期になるとワクワクして集まって楽しむことも、そこに参加していることには違いないと思います。「大人になって地元を離れていても、この時期には必ず帰ってくる」とよく言われますが、祭りの力強さ、地域のつながりの力強さをあらためて感じるのと同時に、このような日ごろからのつながりが、災害時等の共助にもつながってくると思います。

